

よかところ通信

2014年8月号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両井 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: mail@o2farm.net
O2FarmWeb : www.o2farm.net

残暑お見舞い申し上げます…と言いたいところですが、阿蘇は不安なほど暑くない毎日です。暑くないというより、お天気がパツとしません。さぁこれからお米が実っていくという8月。太陽の光が一番必要な時期なのですが、日照不足や温度不足が心配です。空を見上げてはお天道様に祈り、前向きな姿勢を持ち続けるしかありません…。



少し元気のない書き出しになってしまいましたが、私たちは元気に過ごしています。夏休みに入った子供たちは、川遊びや昆虫採集で忙しそう。農作業が大好きな彼らをリトルファーマーと呼んでいたのですが、さすがに他の遊びが忙しいお年頃になってきたのか、「田んぼの見回りに行こうよ」と誘っても断られるようになってきました。それでも、野良仕事をする両親の姿を視界のすみっこにいれながら遊んでいる

彼らは、いま田畑で何が起きているかを知っています。こういう環境での子育てがしたくて移住を望んだ私にとっては、ああ阿蘇に来て良かったと思うことばかり。都会から次々に訪ねて来るお客さんに「これね、稲の花なんだよ」とか「あれはヒエ。イネによく似てるでしょ」なんて子供たちが説明しているのを聞くと、ニンマリしてしまいます。



そしてこれがお米の花。とても地味な白い花なのですが、どうぞお見知りおき下さい。ちなみに都会育ちの私は、イネに花が咲くことさえ知りませんでした。見たことがなかったし、学校で教えてくれるわけでもなかったので仕方がないとはいえ、花が咲いて実が成るといふ、いわば当たり前のことを考えようとしなかったなぁと反省しています。私がか子供だった頃から何十年も経っているのに、子供たちがお米の花さえ知らない状況は今も変わっていない様子。彼らが子育てする頃までには変えていきたいなぁと思います。受粉の時期に強風や大雨が降ると実ができません。今年は

ちょうどその頃に台風の影響で天気が荒れていたのもとても心配です。無事に受粉できていますように…。



イネの成育と直接は関係ないのですが、O2Farmにとっては就農以来の夢が1つ叶いました。植生調査をして頂いたのです。昨年来、「農業環境技術研究所」という国の研究機関から、若手研究者の方が1週間の農業研修にいらしているのですが、研修期間中に寝食を共にして交流を深めた彼らが、改めて調査をするために来てくれたのです。1人は生態系、それも田畑のような人の手が加わった場所の生態系が専門の方で、もう1人は地図づくりのスペシャリスト。3面にカメラがついている機材や、ラジコンヘリを駆使して、我が家周辺の地形や景観を記録して下さるとのこと。子供たちも興味深々でした。





大蛇の目 (オオアブノメ)



車軸藻 (シャジクモ)

シャジクモは、無農薬の田んぼにしか生えないとのことで、農薬を使っているかどうかの指標になる植物だそう。調査の結果は、研究所に持ち帰って解析して下さるとのことです、楽しみです。

田んぼの植生調査では、農薬を使った田んぼとの違いが歴然。1m四方の中にイネを含めて3~6種類くらいが一般的なのに比べ、我が家の無農薬の田んぼからは多いところでは20種類を超える植物が見つかったとのことで、研究者の方もニコニコ。除草剤を使わないと草取りが大変ですが、その分、これだけの生物多様性を維持しているんだと思うと、やって良かった、と嬉しく思いました日本全国レベルで絶滅危惧種に指定されている植物も2種類見つかりました。「オオアブノメ」と「シャジクモ」という植物です。特にシャジクモは、無農薬の田んぼにしか生えないとのことで、農薬を使っているかどうかの指標になる植物だそう。調査の結果は、研究所に持ち帰って解析して下さるとのことです、楽しみです。

ところで先月、恒例の「アイガモ田見学ツアー&あか牛バーベキュー大会」が開催されました。おあしす米の生産者20軒が、お客様感謝祭として続けているイベントです。遠方からは来て頂くのが難しいかもしれませんが、機会がありましたらぜひいつかご参加ください。我が家のお客様は4家族14名が来てくださり、大いににぎわいました。



稲穂が出始めたら受粉の邪魔をしないように田んぼにりません。それまでに田んぼの中の草取りは終わらせ、お次は田んぼ周りの草切り。用水路や道路まで、なるべく短く切っておきます。一通り終わってホッとしたタイミングで、なんと県知事から感謝状を頂きました！「世界農業遺産の認定・活用において、よく頑張りました」ということだそうです。もちろんありがたく頂きましたが、世界農業遺産の認定に尽力しているのは、私なぞよりも、むしろ先祖代々脈々と農業を続けている先輩農家さんたちですし、今現在、阿蘇での暮らしを続けているみんな。受賞式での一言スピーチの中で、阿蘇の全世帯に感謝状ください、ってお願いしてきました(笑)。これを励みに、今後も微力ながら阿蘇を守っていくことに貢献していきたいと思います。木でできた賞状を見たのは初めてです。



さあ、泣いても笑ってもあと1ヶ月で新米です。無事に稲を刈ることができるよう、どうぞ皆さまもお天道様が照るようお願いしててください！晴れた日の晩、満天の夏空にもお願いしました。特にご連絡がない場合、そして、無事に収穫できた場合、新米以降もこれまで通りのペースでお届けさせて頂きたいと思っております。量や頻度など変更を希望されるようでしたら、お気軽にご連絡下さい。電話、ファックス、メールはもちろん、振込用紙の通信欄でも、承っております(無料)。もちろん変更等なくても、ご意見や感想を頂けると、やる気も倍増しますので、どうぞよろしくお願ひします。

それでは皆さま、作秋に収穫した最後のお米です。体調を崩されませんようお気をつけください。

